



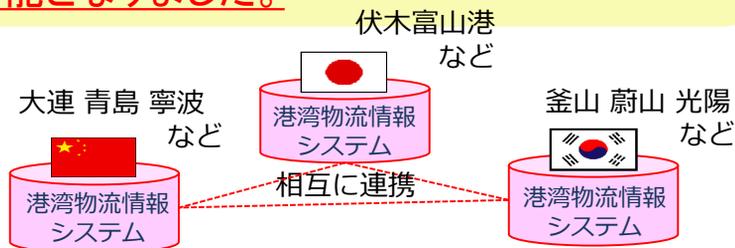
世界に広がる日本海の潮流

—2019年4月 伏木富山港— NEAL-NETによるコンテナ物流情報 提供サービスを開始しました

国土交通省では、日本、中国、韓国の3国の主要港におけるリアルタイムなコンテナ物流情報をウェブサイト「NEAL-NET」から提供しています。
伏木富山港では、2018年4月からコンテナ物流情報サービス「Colins」と接続を開始し、このたび、NEAL-NETによるコンテナ物流情報の提供を開始しました。
これによりインターネットを通じて海上コンテナに係る日本と中国及び韓国の情報をタイムリーに把握することが可能となりました。

<主な機能>

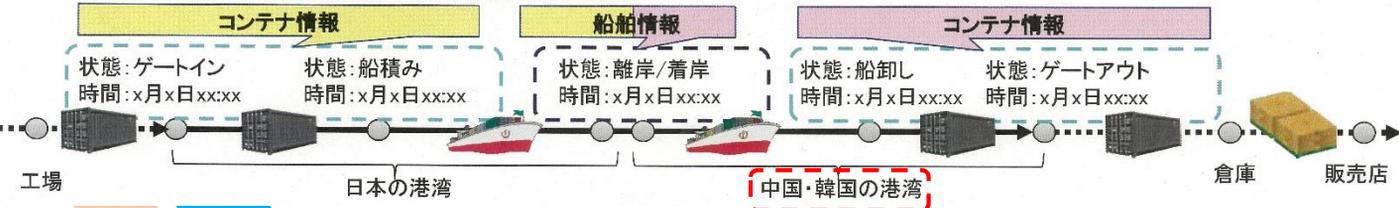
- コンテナ船の離着岸日時の情報
- コンテナのゲートイン・ゲートアウト日時、船積み・船卸し日時の情報



※Colins: Container Logistics information Service
※ NEAL-NET: Northeast Asia Logistics Information Service Network

物流情報の可視化のイメージ

<国内のコンテナ物流情報システム(Colins)から情報取得する部分>



NEAL-NETにより新たに中国・韓国のコンテナ物流情報から取得する部分

貨物の所在位置確認 に係る業務の削減

ウェブ画面からリアルタイム情報を取得できるようになり問い合わせ業務が容易になりました。

在庫量の削減

国際輸送中の貨物状況が見える化されることで、在庫として扱えるようになり、在庫量の削減が可能になりました。

遅延リスクに対する 迅速な対応

国際輸送中の貨物状況が見える化されることで、遅延や事故からの迅速な復旧が可能になりました。

Colinsホームページ(<https://www.colins.ne.jp/>)にてNEAL-NET会員への登録完了後、利用を開始することができます。是非ご利用ください。

www.colins.ne.jp

問い合わせ
富山県
土木部港湾課
商工労働部立地通商課
☎076-431-4111(代表)

コンテナ物流情報サービス

検索



2018年4月 伏木富山港の利便性が向上します

—Colins(コンテナ物流情報サービス)と接続—



2018年4月、新たに伏木富山港新湊地区の国際物流ターミナルがColinsと接続し、コンテナの効率的な輸送をサポートします。

コンテナ物流情報サービス(Colins)とは、輸入コンテナ搬出可否情報、船舶動静情報などのコンテナ物流情報を、ターミナルオペレーター、荷主、海貨業者、運送事業者などの関係者で共有化するためのウェブサイトで、国土交通省が整備・運用しています。

関係者が必要な情報を
一元的に共有できます。

輸入コンテナのCY搬出可否情報、船舶動静情報など、いままで個別に提供され分散していた情報を集約し、関係事業者同士が同じ情報を共有できるようになることで、情報の把握や連携が容易になります。

情報伝達上のトラブルを減らし、コンテナ物流のスムーズな流れを実現することができます。

業務の負担が
大幅に軽減します。

Colinsにアクセスすれば、目的の貨物の必要な情報がいつでも入手可能になり、コンテナターミナルへの問い合わせや確認が不要になります。

今まで負担のかかっていた問い合わせや業務などが大幅に減少し、輸送効率の向上や業務の時間短縮が図れます。

環境に優しくムダの少ない
輸送を行えます。

ウェブカメラの画像や、提供される様々な情報で、ターミナルや貨物の現在の状況が直接確認できるので、混雑を回避し、待機時間の少ない計画的な配車を行うことが可能となり、周辺道路の渋滞の緩和や環境負荷の低減が期待できます。

ご利用は無料です。ColinsウェブサイトよりID登録申請をお願いします。

www.colins.ne.jp

コンテナ物流情報サービス

検索

問い合わせ
富山県
土木部港湾課
商工労働部立地通商課
☎076-431-4111(代表)

